

海を生かしたまちづくりの提言について ■問い合わせ 農林水産課 ☎ 64・6023

海を生かしたまちづくりを沿岸域総合管理の考え方に基づいて検討してきた「小浜市沿岸域総合管理研究会」。同研究会は市内の産学官の関係者で構成され、これまで7回にわたり検討を重ね、3月4日に取りまとめた提言を市長に提出しました。今回は、この提言の概要についてお知らせします。



◎提言の趣旨

自然環境を保全し、自然の恵みを産業や教育などに継続して生かしていくこと、これらを通じて市民に愛され、市民が愛着をもって住むまちづくりのための提言。市民、行政、産業界、教育機関それぞれが共有し、尊重すべきものであり、全ての関係者に対して自発的な行動を促すことを目的としています。

◎解決すべき課題と望まれる対応

自然環境の保全

生態系の保全

小浜湾内のアマモ場の減少や山林の植生減少などに対し、調査・研究、現行対策の評価、中長期的なモニタリングなど、関係者が連携して、解決に向けた体制を整備

海岸漂着ゴミの円滑な処理

漂着ゴミの円滑な処理のために、回収・処理における行政と地域住民などの役割分担やルールの共有化

環境保全活動の円滑な推進

環境保全団体が行うさまざまな活動の円滑な推進のために、官民や住民相互の連携・協力体制を整備

自然の恵みの産業、教育などへの利用

農林水産業、観光の振興

魚価や木材価格、米価の低迷などにより衰退する農林漁業の振興のため、水産資源管理や木材消費を生み出す新たな仕組みづくりなどを官民一体となって推進。また、観光業の再興のため、美しい景観、文化・伝統などの既存資源の価値向上、業種間や地域間連携を一層進める

学校教育における自然・産業体験メニューの充実

自然環境や産業との関わりについて理解を深め、地域愛を醸成する体験教育をより一層拡充させ、内容や頻度の地域的な偏りを是正し、産業界やNPOとの連携を深める

関係者間の連携強化

左記の問題が長期化・深刻化しつつあるのは、行政や業種の縦割り管理が責任をあいまいにしてきたことや、関係者間の連携が不十分であったことなどが主な原因。

総合的な視点で、多様な関係者が参画し、それぞれの役割や目標を明確にし、解決に向けた取り組みを実施できる協議会などの体制を行政、特に市が中心となって整備することが望まれる

沿岸域とは…
海岸線を挟む陸域から海域に及ぶ区域

◎望ましい海岸域の実現

- ◆市民の財産である豊かな自然環境が保全され、そこから得られる自然の恵みを産業や教育などに継続的に生かされている
- ◆自然環境の保全と、人による利用のバランスが保たれている
- ◆沿岸域に関わる様々な立場の者が沿岸域の問題を自らの問題として意識し、自ら行動する

(仮称) 東部小学校建設予定地を選定

■問い合わせ 教育総務課 ☎ 64・6031

小浜市東部地区（松永・国富・遠敷・宮川）の4小学校を統合して新たに建設する（仮称）東部小学校の建設予定地については、県立若狭歴史民俗資料館（遠敷二丁目）の北側で、JR小浜線に隣接した用地（約29,300㎡）を選定しました。

今後は、測量設計や国・県など関係機関との手続きを順次進め、平成31年4月の開校を目指します。



OBAMAなう！ OBAMAなう！ OBAMAなう！

私も参加できるの？

次のいずれかに該当する高校生（おおむね15歳）以上の人が参加できます

- ①小浜市に住んでいる人
- ②勤務先が小浜市の人
- ③小浜市に関心がある人

無料&匿名で参加できます

何ができるの？

日々の出来事の日記をつけたり、風景などの写真を共有できます。

また、同じ趣味を持つ人同士が集まれる「コミュニティ」と呼ばれるコーナーもあり、お気に入りのカフェや好きな本の紹介などを行うことができます。

どうやって参加するの？

「OBAMAなう！」（<http://obama-now.jp>）にアクセスして、画面右上の「新規登録」をクリック。案内に従って、登録手続きを行ってください。

登録完了

ようこそOBAMAなう！へ

つながる ひろがる

OBAMAなう！ 参加者募集中

地域SNS「OBAMAなう！」は、市内に住んでいる人や働いている人など、小浜に愛着を持つ皆さんの、交流の場を作り、人と人の絆を強めるために、市がインターネット上に「広場」を提供するものです。

平成24年3月に開設し、現在は192人（3月1日現在）が参加して、趣味や活動などについての情報発信や交流をしています。

【問い合わせ】市民協働課 ☎ 64・6009

